

平成 30 年 12 月 18 日

意見発表

赤井委員

本委員会に付託されました諸議案の採択に当たり、公明党神奈川県議会議員団を代表して賛成の立場から意見、要望を申し述べさせていただきます。

はじめに、県土整備局分についてです。県営住宅の建て替えについてです。P F I や余剰地の売却など、様々な工夫を行い、現計画で建て替えに着手の 5 団地をはじめ、新たな計画で示した建て替えをしっかりと実行していただくよう要望します。

次に、県営住宅の空き駐車場の活用についてです。

県営住宅では、団地に来られた御家族の方などが駐車場に困っており、月決め駐車場だけでなく、コインパーキング的なものがあると非常に助かるという話もありますので、是非考えていただくよう要望します。

次に、多世代居住コミュニティ推進ハンドブックについてです。

この名称は、全てを網羅している言葉で間違いはないのですが、県民の民さんから見ると親しみやすい名前というのが非常に大事かと思いますので、是非、名称変更の検討をお願いいたします。

次に、マイ・タイムラインの作成についてです。

平塚市では、金目川が暴れ川ということで、これまでも台風たびに河川の堤防が崩れるなど、いろいろなことがありました。そのようなことから、金目川水系の平塚市域、秦野市域あたりでも、マイ・タイムラインの作成をすぐにも取り組んでいただきたいという思いもありますので、是非、各市町への声掛けを積極的に行っていただくよう要望します。

次に、企業庁分についてです。

県では東大発のベンチャー企業 W O T A 社と連携し、災害用シャワーパッケージの実証導入とともに、水処理施設の A I 導入の可能性について検討すること、今後、人口減少社会の到来や電力の全面自由化など、これまでに経験してこない変革のときを迎えることとなります。民間との連携などを通じて、新たな技術やアイデアを積極的に受け止め、従来からの事業の枠組みを超えるような柔軟な発想をもって、将来の企業庁のあるべき姿を探っていくよう要望いたします。

以上、意見、要望を申し述べさせていただきます、付託されております全ての諸議案に賛成させていただきます。